セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
会長講演	PL	私が歩んだ臨床神経生理学：不随意運動の病態から神経可塑性	花島 律子
特別講演	SL1	信頼されるニューロテクノロジーをつくる―ロボットTMSの開発から、教育・エビデンス・制度づくりまで―	武見 充晃
Special Lecture	SL2	Transcranial ultrasound neuromodulation for movement disorders	Robert Chen
Special Symposium	SSY1-1	Recent advances in focused transcranial ultrasound stimulation	Yasuo Terao
Special Symposium	SSY2-1	How to progress from the clinical evidence to international clinical implementation	Akio Ikeda
Special Symposium	SSY2-2	Real-world wide-band EEG in Epilepsy : four years of international experience, collaboration and interactive discussion	Aris Catur Bintoro
Special Symposium	SSY2-3	Real-world wide-band scalp EEG in pediatric epilepsy	Katsuhiro Kobayashi
時実レクチャー		神経と神経，神経と筋のあいだ	今井 富裕
島薗レクチャー		脳神経情報処理の深淵：末梢受容器から高次脳機能まで	後藤 純信
奨励賞受賞記念講演1		神経筋超音波をどう活かすか―電気生理学的検査との共同戦線	北國 圭一
奨励賞受賞記念講演2		病態解析から新たな治療応用まで	大崎 裕亮
コスミックコーポレーション神経筋接合部疾患研究奨励賞　受賞記念講演		神経伝導検査における鼻筋記録波形の電極位置依存性と最適化	田中 智子
教育講演	EL1	体性感覚誘発電位検査(SEP)解釈の基本	大石 知瑞子
教育講演	EL2	神経筋エコー最前線 ― 電気と動きをつなぐ	関口 兼司
教育講演	EL3	超音波刺激によるニューロモデュレーション	宇川 義一
教育講演	EL6	運動単位から考えるF波―その発生機序と臨床的意義	幸原 伸夫
教育講演	EL7	高齢発症てんかんの脳波 Update	神 一敬
教育講演	EL8	発作時脳波と発作間欠期脳波～VEEGがなくとも知っておきたい基礎知識～	川口 典彦
教育講演	EL9	ブレインマシンインターフェース最近の動向	平田 雅之
教育講演	EL10	多職種で共有したいDBSの知識	池田 俊勝
教育講演	EL11	MG診療における同心針電極ジッター解析の役割と限界	中村 友紀
教育講演	EL12	遷延性意識障害の評価と治療の最前線 ― 行動評価から神経生理学的評価、ニューロモデュレーションまで ―	新見 昌央

セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
教育講演	EL13	神経生理医が遭遇しやすい局所性ニューロパチー/根障害の電気診断学	正門 由久
教育講演	EL14	精神疾患治療における経頭蓋磁気刺激療法の最前線：iTBSからTMS-EEGガイド下精密	池田 俊一郎
教育講演	EL15	慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー（CIDP）診断のpitfall	神林 隆道
教育講演	EL16	脊髄髄内腫瘍手術における術中神経モニタリング：波形をどう読み、手術にどう活かすか	遠藤 俊毅
教育講演	EL17	大脳皮質と白質の直接刺激および記録による術中モニタリング	福多 真史
教育講演	EL18	術中経頭蓋MEPモニタリングにおける末梢神経刺激CMAP補正の有用性	田中 聡
教育講演	EL19	臨床神経生理学から迫る自閉スペクトラム症の認知機能	藤田 貴子
教育講演	EL20	脳幹部および脳幹近傍病変に対するmappingの基本手技と有用性	四條 克倫
教育講演	EL21	精神疾患における神経生理学的バイオマーカーの現状と課題	高木 俊輔
教育講演	EL22	選択的脳領域麻酔　脳機能マッピングの新たな展開	大沢 伸一郎
教育講演	EL23	精神科臨床から始めるERP研究―こころと脳をつなぐ神経生理学	志賀 哲也
教育講演	EL25	頚椎症とALSの鑑別	園生 雅弘
教育講演	EL26	臨床神経生理検査に必要な解剖知識	赤座 実穂
教育講演	EL27	針筋電図検査の基本ー検査の進め方と判読のポイントー	神林 隆道
教育講演	EL28	末梢神経外科における神経伝導検査・筋電図の実際	山本 真一
教育講演	EL29	疼痛を神経生理学的に評価することの意味～機能性神経障害につなげられるか？	西原 真理
教育講演	EL30	末梢神経外科における神経超音波検査の役割	原 由紀則
教育講演	EL33	経頭蓋磁気刺激法を用いた中枢運動神経伝導時間（CMCT）の測定方法と臨床現場での有用性	村上 丈伸
教育講演	EL34	終夜睡眠ポリグラフの解析の実際～初心者が学ぶには～	藤田 志保
教育講演	EL37	てんかん診療における脳磁図解析の基礎と臨床応用	中島 翠
教育講演	EL38	神経生理検査に必要なMEと安全対策	内藤 寛
教育講演	EL40	初心者が陥るNCSのピットフォール	田中 理

セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
シンポジウム1 てんかん重積状態Update	SY1-1	小児のてんかん重積状態診療	西山 将広
シンポジウム1 てんかん重積状態Update	SY1-2	成人のてんかん重積状態アップデート	吉村 元
シンポジウム1 てんかん重積状態Update	SY1-3	非痙攣性てんかん重積状態アップデート：IICとのグラデーションと層別化	音成 秀一郎
シンポジウム1 てんかん重積状態Update	SY1-4	てんかん重積状態治療のシステマティックレビュー	上原 平
シンポジウム2 精神科領域における神経生理学的評価	SY2-1	せん妄・認知症における臨床脳波研究―自験研究を中心に―	畑 真弘
シンポジウム2 精神科領域における神経生理学的評価	SY2-2	児童精神科における神経生理学的評価の臨床応用の視点	太田 豊作
シンポジウム2 精神科領域における神経生理学的評価	SY2-3	うつ病における定量脳波と臨床展開	西田 圭一郎
シンポジウム2 精神科領域における神経生理学的評価	SY2-4	統合失調症とat-risk mental stateにおける脳波と事象関連電位所見 ―転帰予測と臨床応用の可能性―	樋口 悠子
シンポジウム3 眼振について多様な視点で考えよう!!	SY3-1	目は口ほどにものを言う ― 眼球運動から小脳疾患を診る ―	白井 慎一
シンポジウム3 眼振について多様な視点で考えよう!!	SY3-2	Benign Paroxysmal Positional Vertigo(以下BPPV)の型別眼振	新井 基洋
シンポジウム3 眼振について多様な視点で考えよう!!	SY3-3	眼振の適応を担う速度蓄積機構と神経積分機構	平田 豊
シンポジウム4 ニューロモデュレーションの利用法：こんなふうに役立ちます	SY4-1	ニューロモデュレーションはこんなふうに役立ちます―パーキンソン病に対するDeep Brain Stimulationの過去・現在・未来―	西川 泰正
シンポジウム4 ニューロモデュレーションの利用法：こんなふうに役立ちます	SY4-2	ジストニアに対するニューロモデュレーション治療と本邦での現状	旭 雄士
シンポジウム4 ニューロモデュレーションの利用法：こんなふうに役立ちます	SY4-3	ITB療法の適応と長期有効性	内山 卓也
シンポジウム4 ニューロモデュレーションの利用法：こんなふうに役立ちます	SY4-4	脊髄刺激療法の現在地―疼痛治療から脊髄神経回路のニューロモデュレーションへ	上利 崇
シンポジウム5 神経発達症の脳波異常をどう考える？	SY5-1	神経発達症の脳波異常をどう考える？～てんかん性突発波と行動異常との関連～	金村 英秋
シンポジウム5 神経発達症の脳波異常をどう考える？	SY5-2	自閉スペクトラム症の脳波異常をどう考える	中川 栄二
シンポジウム5 神経発達症の脳波異常をどう考える？	SY5-3	神経発達症における脳波異常	安原 昭博
シンポジウム5 神経発達症の脳波異常をどう考える？	SY5-4	神経発達症における定量脳波解析の臨床応用と課題	佃 万里
シンポジウム6 精神科臨床におけるrTMSの各施設の運用状況と、今後の普及にむけての提案	SY6-1	関西エリアのrTMS療法の運用状況と今後の展開について	高橋 隼
シンポジウム6 精神科臨床におけるrTMSの各施設の運用状況と、今後の普及にむけての提案	SY6-2	臨床研究・教育を組み込んだrTMS療法の運用	小高 文聰
シンポジウム6 精神科臨床におけるrTMSの各施設の運用状況と、今後の普及にむけての提案	SY6-3	山陰地方におけるrTMSの実施状況と地域医療連携上の課題	山梨 豪彦

セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
シンポジウム6 精神科臨床におけるrTMSの各施設の運用状況と、今後の普及にむけての提案	SY6-4	入院rTMS療法の実臨床成績と治療転帰予測―単施設117例の治療抵抗性うつ病コホートから―	西澤 由貴
シンポジウム7 術中脊髄モニタリングの各種モダリティーの評価	SY7-1	Tc-MEPによる術中モニタリングの問題点	吉田 剛
シンポジウム7 術中脊髄モニタリングの各種モダリティーの評価	SY7-2	Utilization of somatosensory evoked potential	山田 徹
シンポジウム7 術中脊髄モニタリングの各種モダリティーの評価	SY7-3	D-waveによる術中モニタリングの有用性	大島 秀規
シンポジウム7 術中脊髄モニタリングの各種モダリティーの評価	SY7-4	脊椎脊椎手術における自発筋電図の有用性	橋本 淳
シンポジウム8 脳波判読におけるDensity Spectral Array (DSA) の活用	SY8-1	DSAはルーチン脳波判読をどう変えるか	音成 秀一郎
シンポジウム8 脳波判読におけるDensity Spectral Array (DSA) の活用	SY8-2	長時間ビデオ脳波モニタリングにおけるDensity Spectral Arrayの活用	此松 和俊
シンポジウム8 脳波判読におけるDensity Spectral Array (DSA) の活用	SY8-3	Critical Care EEG判読におけるDSAの活用法	福地 聡子
シンポジウム9 神経生理検査にまつわるインシデント事例とその是正および予防処置	SY9-1	インシデント発生時の緊急処置から予防措置に至るまでのプロセス	木村 早希
シンポジウム9 神経生理検査にまつわるインシデント事例とその是正および予防処置	SY9-2	脳波検査のインシデント事例から学ぶ医療安全対策と品質管理	宇城 研悟
シンポジウム9 神経生理検査にまつわるインシデント事例とその是正および予防処置	SY9-3	神経伝導検査のインシデント事例の提示およびその対策	木崎 直人
シンポジウム9 神経生理検査にまつわるインシデント事例とその是正および予防処置	SY9-4	術中神経モニタリングにおけるインシデント事例と是正・予防処置	小川 優司
シンポジウム10 特殊なMNDの臨床と電気生理	SY10-1	FOSMN症候群の臨床と電気診断	澁谷 和幹
シンポジウム10 特殊なMNDの臨床と電気生理	SY10-2	Spinal and Bulbar Muscular Atrophy(SBMA)の臨床と生理検査	鈴木 洋司
シンポジウム10 特殊なMNDの臨床と電気生理	SY10-3	SOD1遺伝子変異を有するALSの臨床と電気生理	矢野 直志
シンポジウム11 経皮的耳介迷走神経刺激（taVNS）基礎と臨床応用	SY11-3	経皮的迷走神経刺激の脳波と認知機能への影響	寺尾 安生
シンポジウム11 経皮的耳介迷走神経刺激（taVNS）基礎と臨床応用	SY11-4	経皮的耳介迷走神経刺激療のてんかんへの影響	白石 秀明
シンポジウム12 神経筋接合部疾患における電気生理学的検査の感度・特異度	SY12-1	重症筋無力症における電気生理学的検査の感度・特異度の再検証	中村 友紀
シンポジウム12 神経筋接合部疾患における電気生理学的検査の感度・特異度	SY12-2	Lambert-Eaton 筋無力症候群における電気生理学的検査の感度・特異度	黒川 勝己
シンポジウム12 神経筋接合部疾患における電気生理学的検査の感度・特異度	SY12-4	興奮収縮連関評価法の実用化に向けて	廣瀬 文吾
シンポジウム13 臨床神経生理検査におけるＡＩの発展	SY13-1	深層学習を用いた神経超音波画像解析	赤座 実穂
シンポジウム13 臨床神経生理検査におけるＡＩの発展	SY13-2	針筋電図のAI診断：未ラベル臨床アーカイブを活かす半教師あり自己学習	野寺 裕之

セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
シンポジウム13 臨床神経生理検査におけるＡＩの発展	SY13-3	AIによる筋超音波解析：テクスチャ・深層学習・動態評価	野田 佳克
シンポジウム13 臨床神経生理検査におけるＡＩの発展	SY13-4	遠隔脳波判読データベースを基盤とするAIによる脳波判読およびてんかん診断システムの開発	菅野 秀宣
シンポジウム14 歩行リハビリテーション治療の臨床神経生理学	SY14-1	歩行ニューロモデュレーションの個別最適化に向けた脊髄神経経路の歩行位相依存的制御の解明	高橋 容子
シンポジウム14 歩行リハビリテーション治療の臨床神経生理学	SY14-2	外骨格型サイボーグを用いた歩行訓練における臨床神経生理学的変化	羽田 康司
シンポジウム14 歩行リハビリテーション治療の臨床神経生理学	SY14-4	歩行機能に関する最新リハビリテーション治療の取り組み	谷 真美
シンポジウム15 精神神経疾患 E/Iバランス最前線	SY15-1	頭蓋内脳波からみた難治性焦点てんかん患者のE/Iバランス	梶川 駿介
シンポジウム15 精神神経疾患 E/Iバランス最前線	SY15-2	E/I balance disruption in schizophrenia	平野 羊嗣
シンポジウム15 精神神経疾患 E/Iバランス最前線	SY15-3	認知症・てんかんの神経過興奮病態とE/Iバランス	甲田 一馬
シンポジウム15 精神神経疾患 E/Iバランス最前線	SY15-4	頭皮脳波からみた自閉スペクトラム症の神経柔軟性低下―E/Iバランスの観点から―	中村 元昭
シンポジウム16 日本発のウェアラブル生理デバイスの現在地	SY16-1	ウェアラブル心拍センサと異常検知AIによるてんかん発作予知	藤原 幸一
シンポジウム16 日本発のウェアラブル生理デバイスの現在地	SY16-2	日本発のウェアラブル生理デバイスの現在地	松本 理器
シンポジウム16 日本発のウェアラブル生理デバイスの現在地	SY16-3	在宅長時間脳波モニタリングの実現に向けたヘルメット型脳波計の開発	浮城 一司
シンポジウム17 神経発達症における電気生理学的手法を用いた脳研究の現在とこれから	SY17-1	安静時定量脳波解析から神経発達症の神経生理学的基盤を捉える	佃 万里
シンポジウム17 神経発達症における電気生理学的手法を用いた脳研究の現在とこれから	SY17-2	神経発達症における事象関連電位(ERP)研究のこれからについて考える	加賀 佳美
シンポジウム17 神経発達症における電気生理学的手法を用いた脳研究の現在とこれから	SY17-3	発達障害と事象関連電位	佐藤 彩
シンポジウム17 神経発達症における電気生理学的手法を用いた脳研究の現在とこれから	SY17-4	神経発達症ERP研究の新展開：幼児用MEGによる音声脳機能解析からOPM-MEG時代へ	菊知 充
シンポジウム18 ワーキングメモリと運動機能	SY18-1	運動イメージによる運動学習の個人差：ワーキングメモリの役割と神経メカニズム	福本 悠樹
シンポジウム18 ワーキングメモリと運動機能	SY18-3	ワーキングメモリと二重課題	木村 剛英
シンポジウム19 AIとビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性	SY19-1	AIを活用した臨床神経生理学研究と教育活動の試み	牛場 潤一
シンポジウム19 AIとビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性	SY19-2	AIを用いたデータ構築と解析の方向性：医工学の連携	野寺 裕之
シンポジウム19 AIとビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性	SY19-3	MEG分野でのAI利用の現状と将来	平田 雅之
シンポジウム19 AIとビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性	SY19-4	AIを用いた心と精神疾患の解明：臨床神経生理データから見た可能性と限界	高木 俊輔

セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
シンポジウム19 AIとビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性	SY19-5	AIによる認知症脳波診断からDMDによる脳波特徴同定へ	福間 良平
シンポジウム19 AIとビッグデータに対する当学会の取り組みと自動解析への応用の可能性	SY19-6	てんかん・精神神経疾患における脳画像AIの検証と臨床実装	曽根 大地
シンポジウム20 FND診療における電気診断の役割	SY20-1	機能性筋力低下・感覚障害に対する電気生理検査の役割	神林 隆道
シンポジウム20 FND診療における電気診断の役割	SY20-2	Seronegative MGとFND	今井 富裕
シンポジウム20 FND診療における電気診断の役割	SY20-3	Functional movement disorder(FMD)における生理学検査	宇川 義一
シンポジウム20 FND診療における電気診断の役割	SY20-4	機能性/解離性発作とてんかん発作の鑑別―ビデオ脳波・筋電図・AI動画解析	斉藤 聡志
シンポジウム21 これから始める CriticalCareEEG・長時間ビデオ脳波の運用	SY21-1	Critical Care EEG・長時間ビデオ脳波の運用：日本方式の模索	吉村 元
シンポジウム21 これから始める CriticalCareEEG・長時間ビデオ脳波の運用	SY21-2	神経疾患におけるCritical Care EEG・長時間ビデオ脳波モニタリング	山野 光彦
シンポジウム21 これから始める CriticalCareEEG・長時間ビデオ脳波の運用	SY21-3	脳波技師によるCriticalCareEEG・長時間ビデオ脳波モニタリングの運用　ー当院の経験よりー	福地 聡子
シンポジウム22 痙縮評価・治療のトピックス	SY22-1	痙縮評価・治療のトピックス―静的評価から動的評価へ：神経生理学的視点を踏まえた新たな評価戦略―	補永 薫
シンポジウム22 痙縮評価・治療のトピックス	SY22-2	痙縮治療における動作評価の重要性：治療効果判定への応用	川上 途行
シンポジウム22 痙縮評価・治療のトピックス	SY22-3	伸張反射亢進の抑制を目指したアプローチとしての視覚誘導性運動錯覚	金子 文成
シンポジウム22 痙縮評価・治療のトピックス	SY22-4	BCIは脳卒中片麻痺上肢の痙縮改善をもたらすか？	牛場 潤一
シンポジウム23 より低侵襲に頭蓋内脳波を記録するために	SY23-1	SEEG電極留置におけるロボット支援とフレーム法の使い分け	江夏 怜
シンポジウム23 より低侵襲に頭蓋内脳波を記録するために	SY23-2	より低侵襲な頭蓋内脳波記録を目指した電極留置の工夫	大谷 啓介
シンポジウム23 より低侵襲に頭蓋内脳波を記録するために	SY23-3	血管内脳波の測定と発作時波形　今分かっていること	増田 洋亮
ワークショップ1 問題症例・症例検討（脳波）	WS1-1	右母指・示指への刺激により誘発される発作を呈したてんかんの1例	山本 直寛
ワークショップ1 問題症例・症例検討（脳波）	WS1-4	全般性棘徐波複合をどう解釈するか―左前頭葉構造病変を有する難治性てんかんの一例―	横佐古 卓
ワークショップ2 神経筋疾患の問題症例	WS2-1	左乳癌の治療から25年後に左上肢の運動麻痺と感覚障害が進行し，診断と治療に難渋した1例	木原 直輝
ワークショップ2 神経筋疾患の問題症例	WS2-2	手根管症候群の術後にF波で反復放電を認めた1症例	本田 愛莉
ワークショップ2 神経筋疾患の問題症例	WS2-3	小指外転筋と尺側虫様筋が選択的に障害され、運動神経伝導検査で手関節－手掌間潜時差の左右差から診断できた手関節部尺骨神経障害の26歳女性例	松野 博優
ワークショップ2 神経筋疾患の問題症例	WS2-4	エリブリン投与中に脱髄性ニューロパチーを呈した1例	難波 広人

セッション	演題番号	演題名	演者名（敬称略）
ワークショップ3 症例から学ぶ小児脳波判読：基礎波形から難症例まで	WS3-2	その動きは発作か？―ビデオ脳波で読み解く小児の紛らわしい発作性事象―	森　達夫
ワークショップ3 症例から学ぶ小児脳波判読：基礎波形から難症例まで	WS3-4	この脳波、どう読む？ー小児神経救急・集中治療における急性期脳波判読	丸山 あずさ
ワークショップ5 問題症例・症例検討（モニタリング）	WS5-1	妊娠中に術中神経モニタリングしたで開頭腫瘍摘出術を行った1例	森 史
ワークショップ5 問題症例・症例検討（モニタリング）	WS5-2	高音障害型感音難聴を示す聴神経腫瘍で，tone音での術中BAEP (ABR)が有用であった1例	井澤 和美
ワークショップ5 問題症例・症例検討（モニタリング）	WS5-3	内視鏡下経鼻的眼窩内腫瘍摘出において，外眼筋モニタリングにより内直筋と下直筋を区別できた眼窩内腫瘍の一症例	板橋 悠太郎
ワークショップ5 問題症例・症例検討（モニタリング）	WS5-4	術中脊髄モニタリングにて真陽性・偽陽性・レスキュー例を呈した脊椎脊髄手術症例の検討	後迫 宏紀
ワークショップ5 問題症例・症例検討（モニタリング）	WS5-5	体位性末梢神経障害を疑わせるTc-MEP 振幅低下とその回復過程に関する２症例の検討	荒川 保雄
ワークショップ5 問題症例・症例検討（モニタリング）	WS5-6	神経束由来が疑われた腕神経叢神経鞘腫摘出術に対して多髄節・全神経束網羅的術中神経モニタリングを施行した一症例	土方 加奈